

講座名	『万葉集』をよむ －万葉集から和歌を考える－			
開講日	平成 28 年 8 月 17 日（予備日 8 月 20 日）			
時間数	6 時間	講座の形態		講義
受講予定者数	40 名	履修認定対象職種	教諭	主な受講対象 中・高等学校国語科教諭
講座の到達目標	『万葉集』に対する理解を深め、また万葉集および和歌（短歌）の指導能力を高める。			
講座の概要	和歌は、万葉集の時代以来 1300 年余りにわたって脈々と詠み継がれて来た日本独自の文学形式である。にもかかわらず、教科書に収録されている『万葉集』歌などは、「古典」＝難しいものと解され、中学生・高校生にとっては取っつきにくいイメージがある。そこで、『万葉集』を出発点として、和歌をよむ（読む－詠む）ことの楽しさを考えてみたい。講習は講義形式とする。			
講座の計画	1 時限	教科書に載る万葉歌 教科書に取り上げられている万葉歌についてわかりやすく解説する。		
	2 時限	短歌をよむ 5 音・7 音の世界 5 音と 7 音という「器」に親しんだ後、万葉集の時代の人たちのように、「うた」－短歌形式で自分の思いを表現してみる。		
	3 時限	ホントは面白い万葉集 教科書には載っていない万葉歌を、漢字による原文表記に注目して楽しみながら読む。		
	4 時限	実践的万葉（和歌・短歌）講座 『万葉集』あるいは「和歌（短歌）」の授業について授業にそくして考えてもらう。 試験（60 分程度）		
修了確認の方法	筆記試験（8 月 17 日の 4 時限に行う）の評価による。			
成績評価の視点	筆記試験によって評価する。			
備考	1 時限は 90 分 テキストは使用しない。必要な資料は授業時適宜配布する。 参考文献は授業時に適宜指示する。			
担当者	花井 しおり（人間環境大学 人間環境学部 准教授）			